

第52回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会 競 技 注 意 事 項

1 この大会に適用する規則は、2017年日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。

2 招集について

ア 選手招集場は、第1ゲートの通路に設ける。

	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	25分前	35分前
完了時刻	15分前	25分前

イ 招集時の点呼は招集完了時刻10分前に開始する。

ウ 代理人による招集は認められない。但し多種目を同時に兼ねて出場する者は、あらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出し事前の点検を受けておくこと。

エ 腰ナンバーカードは、各学校で準備すること。

3 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

4 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の2時間前から1時間前までに予選、決勝ともに記録・情報処理室へ提出すること。(オーダー用紙は、学校受付時に配付する)

5 競走競技のスタートはイングリッシュコマンドで実施し、不正スタートは1回で失格とする。

6 5000m、3000mSC、5000mW、3000mで先頭に一周抜かれた場合、レースを中止することがある。

7 男子5000mは2組タイムレース決勝とし、番組の編成は記録順とする。

8 やりは、検査をうけて自己のものが使用できる。

検査場所 ……玄関ロビー

検査時間 ……男子第二日 9時30分 女子 第二日 12時30分

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、練習の高さは別途定めることがある。

男子	走高跳 ……	1m50(練習) 55-60-65-70-75-80-85-88	以後 3 cmきざみ
	棒高跳 ……	2m40(練習) 2m60-80-3m00-10	以後10cmきざみ
女子	走高跳 ……	1m30(練習) 35-40-45-48	以後 3 cmきざみ
	棒高跳 ……	1m50(練習) 60-80-2m00-10	以後10cmきざみ

走高跳・棒高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。

10 高体連の申し合せにより、役員の協力のない学校の生徒は出場できない。

11 セパレートレーンを使用するトラック競技の予選および準決勝において、同記録(1/1000秒未満の着差)により次ラウンドへの出場者が決められない場合は、本人または代理人による抽選で出場者を決定する。また、同記録のため次ラウンド出場者が規定の人数を超える場合は、時間に基づいて次ラウンド進出を認める競技者の数を減ずる。

12 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型ピンのスパイクシューズを使用すること。ただしやり投・走高跳は12mm以下とする。

13 盗難防止のため各自の荷物は各自で管理すること。忘れ物、落とし物のないように注意すること。

14 ゴミは、各校でゴミ袋を準備し、持ち帰ること。

15 競技場の開門は、7時30分に行う。

16 開会式参加者は9月23日(土)午前8時50分、100mスタート付近に学校単位で整列し集合すること。

17 追加登録をした学校は、登録料一人850円を庶務係に納入してください。

18 両日とも競技終了後、各校代表者2名による清掃をおこなう。代表者は競技終了と同時に本部前に集合すること。